

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	千代川保育園	施設種別	保育園 (旧体系：)
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

平成30年 1月11日

総 評	千代川保育園は、亀岡市の西北部に位置し、周囲は豊かな田園地帯に囲まれています。JR千代川駅から徒歩圏内という利便性もあり、近年宅地造成が進み、若年世帯の増加に伴い入園希望者も増加しています。 禅的素養を基本とした保育・教育の増進向上、保育・児童を主人公とした最善の利益を目指す保育・教育、保護者支援、地域社会の子育て支援、職員の福利厚生を経営理念とし、通常保育の他にも一時預かりや卒園児の学童保育、病後児保育、子育てひろば事業など、長年に渡り地域社会の拠点として社会的役割を十分に果たされてきました。 園舎内には、職員手作りのドキュメンテーションが多数掲示されており、保育の内容を保護者に分かりやすく伝える工夫がされています。園長をはじめ管理者のリーダーシップのもと、職員間のチームワークも良く、園内は温かい雰囲気になっており、その中で子どもたちが伸び伸びと過ごしています。
特に良かった点(※)	● 子育てひろば事業や子育てサポートセンター事業の他、緑化推進栽培活動や自治会主催のふれあい祭りに参加するなど、地域との交流を広げるための取り組みを積極的に行われています。 ● 園舎や園庭は十分な広さがあり、保育室以外に図書室があったり、保育室内には畳スペースがあるなど、子どもが安心してゆったりとくつろげる環境となっています。 ● 管理者のリーダーシップのもと、職員は園の保育理念・基本方針を十分理解しており、職員間のチームワークが良く、働きやすい職場であることが見てとれます。
特に改善が望まれる点(※)	● 保育の利用に関しては、わかりやすい説明を行い保護者の同意を得ていますが、支援が必要な方への説明など、ルール化を図るとさらに良いでしょう。 ● 第三者評価を定期的に受診し、保育の質の向上に対して熱心に取り組まれています。今後は、評価結果の分析や検討、職員間での課題の共有、そして保育所全体の自己評価が行われるとなお良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

【様式 9-2】

【保育所版】 評価結果対比シート

(注) 判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご注意ください】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	千代川 保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会
訪問調査日	平成30年 1月11日

保育所評価基準 対比シート (H29年4月～)

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	項番	評価細目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	a
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	b
		3	②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	b
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b	b
		5	②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b	b
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	b
		7	②	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b	b
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	①	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	b
		9	②	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	b

[自由記述欄]

・保育理念や基本方針については、入園説明会にて保護者に説明をされています。園内には保育のドキュメンテーションが掲示され、写真やコメントを通じて保育の内容について知らせています。

・事業経営をとりまく環境と経営状況については、亀岡市の子ども子育て会議や地域の各種福祉計画の資料を確認するなどして把握し、それを中期計画や事業計画に反映されるとなおります。

・現状の分析に基づき「人材不足」を経営課題として、事業計画にも謳われています。今後は、理事や役員に加え職員に対して、経営課題を周知するとなおります。

・中・長期計画は策定されていますが、具体的な数値目標やそれに基づいた収支計画があればなおります。

・事業計画はホームページに掲載されていますが、保護者会やクラス懇談などの機会に保護者に対して分かりやすく伝える取り組みがあればなおります。

・第三者評価を定期的に受診するなど保育の質の向上に対して熱心に取り組まれています。今後は、評価結果の分析や検討、職員間での課題の共有、そして保育所全体の自己評価の定期的な実施が求められます。

Ⅱ 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ	Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	b
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	a
	Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	b	b
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b	b
Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成	Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	b
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	b	b
	Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b	a
	Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b	b
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	b
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b	b
	Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	b
Ⅱ-3 運営の透明性の確保	Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	a
		22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b	a
Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献	Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	a
		24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	b
	Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	a
	Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a	a
		27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	b

[自由記述欄]

- ・施設長の役割と責任は、職員室に備えられている業務マニュアルの中に記載されていますが、保育園内の広報誌等には掲載されていません。
- ・施設長は遵守すべき法令を理解するため研修等に積極的に参加しています。また、最近改正された水防法に関する避難確保計画も既に整備されています。
- ・施設長は、保育の質に関する課題を把握しており、例えば、保育者の子どもへの言葉掛けについて職員に具体的な言葉で指導を行うなど、指導力を発揮されています。今後は、保育の質の現状に対しての分析ができればなお良いでしょう。
- ・長年ソニー教育財団主催の「科学する心を育てる」コンテストに参加するために、幼児クラスの職員を中心にプロジェクトチームを立ち上げ、保育の質の向上に取り組んでいます。その結果、奨励賞に何度も選ばれています。
- ・人材の確保や育成については、「きょうと福祉人材育成認証制度」の認証を受けており、人材育成計画も整備されています。今後は、計画に基づいた人材育成を実施していくことが求められます。
- ・育児休業を修了した職員に対して、育児短時間勤務制度を導入するなど、職員のワーク・ライフ・バランスに配慮されている他、職員がインフルエンザ予防接種を受ける際の費用の全額補助や有給休暇取得促進のためのデータ管理など、働きやすい職場環境作りに積極的に取り組まれています。
- ・職員一人一人の育成のため、年度当初に職員が自己目標を設定し、それを基に園長が年に2回面談を行っています。今後は、目標項目・目標水準・目標期限を明確に設定することができればなお良いでしょう。

・外部研修に積極的に職員を参加させるなど、職員一人一人の研修の機会が十分確保されています。また、これまでの研修履歴が個別にデータ管理されています。今後は、外部研修同様にOJTが活発に行われるとなお良いでしょう。

・保育実習に関してはマニュアルが整備されていますが、指導者に対する研修が行われるとなお良いでしょう。

・ホームページを活用し、様々な情報が適切に公開されています。また、苦情・相談体制は保護者に配布する入園のしおりに記載されており、苦情・相談の内容も掲示板に掲示することで適切に公表されています。園だよりは、市役所の他各小学校や保育園に送付しており、ホームページからも誰でもダウンロードできるようになっています。

・物品を購入する際のルール・書式が明確に決められており、職員にも周知されています。外部監査は、法律的に義務化されている対象外であるにも関わらず、自発的に受けられており、公認会計士による指導・助言を経営改善に繋げています。

・事業計画に地域との連携について記載し、基本的な考え方を文書化しています。園庭開放を毎日9時～17時まで行い、また、地域まわり（職員が自転車で公園を回り、地域への声かけや子育て支援センターの案内をする）や幼年消防クラブで月1回、地域を火の用心で回っています。

・卒園児保護者による英語遊び、大成中学校、南桑中学校の職場体験や南丹高校の家庭科実習など、ボランティアを受け入れています。事前説明の仕組みを整えると良いでしょう。

・関係機関組織図を職員室に掲示しています。亀岡市保健センターと発達相談や虐待防止に関して連携をとっています。

・月3回、子育てひろば事業を行っています。ヨガ教室や育児講演会を実施しています。自治会の依頼により、災害食を備蓄し、一時避難所になっています。また、緑化推進栽培活動や自治会主催のふれあい祭りに参加しています。3ヶ月に1回、民生委員・児童委員が集まる会議に参加しています。保育園の有する機能を地域に還元し、公益的な事業活動が行われています。福祉ニーズに基づいた活動計画を立てると良いでしょう。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	a
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b	b
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	a
		31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b	b
		32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a	a
	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	a
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	a
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	b
	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b	b
		37	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	a
		38	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	a
		39	④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a	a
Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	b	b
		41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	b
	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b	b
		43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b	b
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	a
		45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	a

〔自由記述欄〕

・子どもの人権に関して、園のしおりに基本方針を記載しています。京都府保育協会や亀岡市主催の人権研修に参加しています。また、年2回、地域の方や保護者を対象に研修会を行っています。プライバシー保護に関しては、職員会議等で職員への周知を図り、懇談等でも配慮しています。プライバシー保護の不適切な事案が発生した場合の対処方法を明示すると良いでしょう。

・保育園の情報を市役所や子育て支援センターに置き、見学者や利用希望者に対して丁寧に対応しています。保育の利用に関しては、分かりやすい説明を行い保護者の同意を得ていますが、支援が必要な方への説明など、ルール化を図ると良いでしょう。

・苦情解決責任者・受付担当者・第三者委員を設置し、その仕組みを掲示かつ保護者に配布して苦情解決体制を整えています。年2回の懇談で保護者の意見を聞き、また、年度末に保護者アンケートを実施して、意見を述べやすいように工夫し、フィードバックしています。苦情解決処理規程を作成し、意見がある時にはその日のうちにミーティングを行い、迅速に対応しています。規則やマニュアルの定期的な見直しを行うと良いでしょう。

・4月にリスクマネジメント委員会を設置し、リスクマネジメント体制を整えています。事故報告書で事例をまとめ、職員へ周知を図り、研修を行っています。定期的な評価・見直しを行うまでには至っていません。

・衛生管理（感染症予防）マニュアル、災害マニュアル、不審者対応マニュアルを整備しています。研修、訓練、保健所や関係機関との連携等を行い、子どもの安全確保に取り組んでいます。

・登降園時の対応、保育者としての心得、保育の方法など実施方法をマニュアル化しています。マニュアルに基づいた実施がされているかの確認、内容の見直しをするまでには至っていません。

・アセスメントを実施し、職員会議等で話し合い、計画・実施・評価・見直しを行っています。様々な職員間で縦断的に協議をするまでには至っていません。また、評価・見直しで課題等を明確にし、保育の質の向上に努めると良いでしょう。

・保育園運営ソフトを用いて、保育の実施状況を管理、記録し、職員間で情報を共有しています。また、個人情報保護及び情報開示では、規程を整備し、職員は研修会に参加し、保護者へ説明するなど子どもの記録の管理体制を整えています。

A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-1 (1) 保育課程の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a	a
		47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	a
	A-1-1 (2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	a
		49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	a
		50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	a
		51	⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		52	⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
		55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
		56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	a
	A-1-1 (3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	a
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	a
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b	b
	A-1-1 (4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	a
		61	② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a	a

[自由記述欄]

- ・睡眠時には部屋の中の畳スペースを活用するなど工夫し、子どもが安心してくつろげる環境を作っています。
- ・保護者に対して、亀岡市主催の発達障害の勉強会の案内を配付し、障害のある子どもの理解を得る機会を作っています。
- ・長時間保育は異年齢で過ごしたり、コーナー遊びで楽しむなど工夫されています。今後は、長時間保育についても指導計画に組み入れると良いでしょう。
- ・指導計画の中に小学校との連携や就学に関する事項が記載されています。また、子どもたちは小学校の運動会に参加したり、体験入学に小学校との交流を持ち、小学校生活に見通しをもてる機会があります。
- ・健康管理に関するマニュアルを整備し、SIDS予防のため、0～2歳児まで5分ごとにこまめにチェックし、記録されています。
- ・食物アレルギーのある子どもには、医師の指示書に基づき対応されています。対応食は食器の色を変え、お盆にのせて名前を書き、誤食防止に努めています。今後は、誤食時や接触時の対応マニュアルに基づき、どのように対応するか訓練しておくとともにさらに安心でしょう。

A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	a
	A-2-(2) 保護者等の支援	63	① 保護者等が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	a
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び 虐待の予防に努めている。	a	a
	A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	a

[自由記述欄]

・連絡帳や年2回の個別懇談、年1回のクラス懇談会を実施しています。また、送迎時に情報交換を行い、保護者とのコミュニケーションをしっかりと、家庭と連携を図って信頼関係を築いています。

・虐待防止マニュアルを整備して、職員研修を行い、関係機関と連携しながら虐待の早期発見や早期対応に園全体で努めています。